

# 色麻町



## 高城獅子躍り

色麻町北部、高城地区の「出羽神社」に伝わる「獅子躍り」です。「獅子躍り（踊り）」と呼ばれているものの、その形態はいわゆる「獅子舞」で、太鼓、笛の鳴り物と、獅子1ないし2頭と山の神で構成されています。

発祥について、これを明らかにする資料はないものの、天慶3（940）年に船形山慶雲寺が高城に分霊され、その後羽黒派末派修験鶏雲寺となり、明治維新に至り出羽神社と改称することから、相当古い時期から神事として行われてきたとされます。

神社の春の例祭等で、五穀豊穡、悪霊や疫病払いの願いを込めて踊られています。

戦時中途絶えたものの、昭和56年、氏子有志により再現しました。

囃子に合わせ、獅子と山の神の絶妙なかけあいのもと、躍動感溢れる踊りを演じます。

